

周辺道路の整備予定エリア

Q1 スマートIC周辺道の安全対策は？

下記図にある●印の4か所の交差点を改良し、幹線3号線・14号線の歩道などの安全対策も進めます。また、広域的な利用交通に対しては、県・関係市町と連携して検討を進めます。



Q2 道の駅などの整備計画はないの？

三芳スマートICの利用者をターゲットにした新たな商業や交流、情報提供の場、(仮称)三芳賑わいバザール公園構想を検討予定です。

Q3 そもそもスマートICとは？

高速道路の有効活用や地域活性化のために整備された簡易なETC専用のインターチェンジです。

町外の視点



子どもたちのスポーツ大会や合宿などで遠方から来る人や、週末に都内からも利用する人が多く、利用者からは、三芳スマートICから出入りができると便利という声を多く聞くのでフル化は利便性向上につながると思います。

答えてくれた人

豊島区立三芳グラウンド
三芳町上富 382-1
施設職員

住民の視点



駅がない三芳町にとって、フル化は地域活性化のチャンスであり、周辺道路の整備も進むので、町がよくなるための打開策になると思います。今回のフル化で、魅力的な三芳町になることを期待しています。

答えてくれた人

北永井在住男性

町内企業



関越自動車道へのアクセスが良くなれば、輸送効率向上が見込めます。現在、フル化を見越して事業規模を約2倍に拡張しています。高速道路を利用することで輸送時間の短縮、到着時間の正確性に繋がるので、大いに活用していきたいと考えています。

答えてくれた企業

株式会社武蔵野ロジスティクス
(物流業)
三芳町上富 167
埼玉物流センター：大久保氏

進出検討企業



新規施設を検討する際、高速道路網の利便性や都心への距離、周辺の人口を考慮し、利用企業からはICに近いこと、施設周辺で雇用可能かが求められます。雇用創出による地域活性化に貢献でき、フル化で三芳町の企業立地力が上がるのは企業として魅力的です。

答えてくれた企業

グローバル・ロジスティック・プロパティーズ株式会社
(物流施設開発)
東京都港区東新橋一丁目5番2号
投資開発部：塩田氏・辻氏

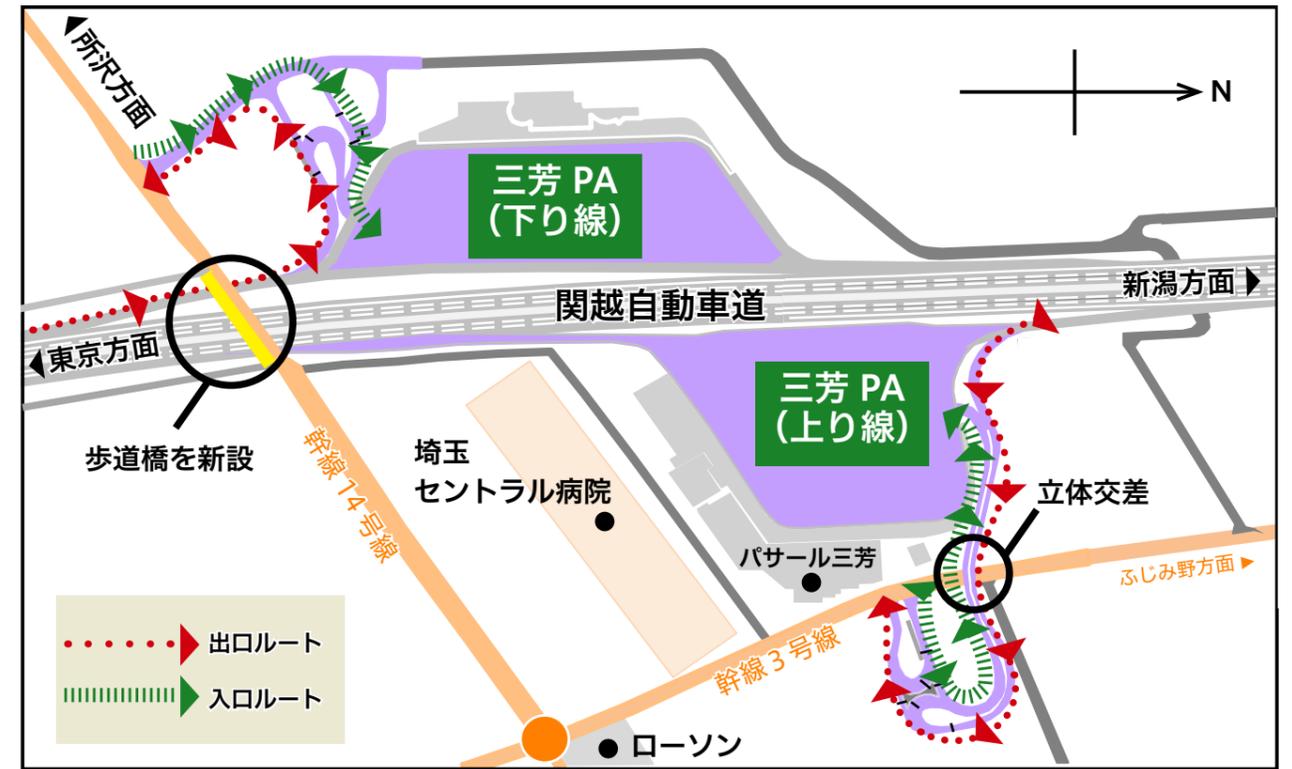
平成30年度完成目標

三芳スマートICフル化決定

フルインター化・車種拡大の事業着手決定

7月31日(金)、国土交通省から三芳スマートICのフルインター化(以下フル化)車種拡大の連結許可が出され、事業着手をすることになりました。今回、フル化による利便性や物流の効率化、企業誘致などの視点も含めフル化について紹介します。

問い合わせ▶道路交通課 スマートIC整備担当 内線 425



この図面は概略図のため、今後詳細設計をふまえ変更になる場合があります。

平成27年7月31日(金)に国土交通省から三芳スマートICフルインター化・車種拡大の事業着手決定が発表され、平成30年度までに整備することを目標とし、事業が進むことになりました。

現在のスマートICはハーフ型で運用していますが、フル化で新潟・東京方面どちらからでも出入りが可能となるほか、利用可能車種が拡大されます。

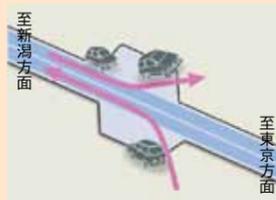
これらにより、地域住民の利便性向上をはじめ、交通量分散の効果で渋滞緩和も期待されます。さらに、産業振興・物流の効率化、地域経済の活性化などのストック効果が期待されています。



8月6日(木)に連結許可書伝達式で国土交通省大宮国道事務所長真田氏から林町長に許可書が渡された。

ココが変わる

ハーフ運用 (現在)



利用可能方面

新潟方面への入り口(下り線)
新潟方面からの出口(上り線)

利用車種

普通車までの制限

フルインター化 (整備後)



利用可能方面

新潟・東京方面とも出入り可能

利用車種

普通車、観光バス、トラック
等※トレーラー不可

関越自動車道をどちらの方面へも出入りができ、利用車種が増え、より利便性が向上します。